

## 新入会員紹介

菅谷 拓 (スガヤ タク) 氏



- ①入会日：2023年2月16日
- ②職業分類：銀行
- ③勤務先：株式会社きらぼし銀行  
池袋支店兼東池袋支店兼西池袋支店
- ④役職名：支店長
- ⑤趣味：読書、ドライブ、テニス、ゴルフ
- ⑥紹介者：小泉博明会員 渡邊裕之会員



## 2/16 例会スナップ



3000回

**第24回例会** 2023.3/2

Rotary  
東京池袋豊島東ロータリークラブ

**Weekly Report**

Rotary Club of  
Tokyo Ikebukuro Toshima-East

会長：小泉博明 幹事：石川宜司 RI会長：ジェニファーE.ジョーンズ 第2580地区ガバナー：嶋村文男

RI2022-2023年度テーマ

イマジン  
ロータリー

**四つのテスト**

言行はこれに照らしてから

- 1・真実か どうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるか どうか

禅語

**無常迅速(むじょうじんそく)**

人生はあっという間ということです。分かっていますが、今日出来ることを明日に延ばし、面倒なことは先延ばしにしています。一瞬一瞬を大切に、無駄に過ごさないということです。クラブの一年間もあっという間です。例会が充実しなければなりません。

**本日の例会**

3月2日(木) 12:30~13:30  
卓話：「2023年はどんな年？ あなたの運勢は？」  
卓話者：立木冬麗氏 (占い師)

**次回の例会**

3月9日(木) 12:30~13:30  
卓話：「渋沢栄一の高弟で後に日本の製紙王と呼ばれた大川平三郎について」  
卓話者：横手 忠氏

**2月16日 例会報告**

司会 野口会員  
開会点鐘 小泉会長  
ロータリーソング  
ソングリーダー 山本会員

☆会員総数	38名
☆出席規定適用者数	28名
★本日の出席者総数	20名
★" 免除者出席数	5名
★本日の出席率	60.6%



2/16 例会

☆本日のゲスト

- 伊藤哲夫氏 (ホストファミリー)
- 伊藤敦子氏 (ホストファミリー)
- レン・ホー ウィング君 (米山奨学生)
- イサベラ・マリンさん (青少年交換留学生)

ニコニコ

野口君 第23回例会に自由学園明日館で挙行出来る様に企画された会長に感謝を申し上げます。ホテルの例会場とは異なった場所は心が引きしめる思いであります。

本日の合計額：2,000円  
今年度ニコニコ累計額：520,725円

会長報告

- 鈴木孝雄会員 米山功労者 第82回メジャードナー 感謝状  
東京池袋豊島東ロータリークラブ 米山功労クラブ 第78回米山功労クラブ

第23回 (2023.2.16)

本日の移動例会の会場である自由学園明日館は、としまこどもカルタでは「昔はね 学校だったよ 明日館」と読み札にある通り、自由学園の校舎であった。

1921 (大正10) 年に、羽仁吉一、もと子夫妻が設立した学校で、生徒は寮で生活し、毎日の生活は、生徒が責任をもって行う「自労自治」の精神に基づいている。食事は学園内の農場で収穫し、酪農を行い、料理するのである。学園は、東久留米市に移転している。また、校舎は帝国ホテルの設計で有名なフランク・ロイド・ライトや、その弟子の遠藤新によるものである。基本の設計はライトで、実施設計は遠藤が担当し、国の重要文化財となっている。私たちは歴史の鼓動を感じる空間にいる。

なお、羽仁もと子は婦人之友社の創立者で、今でも定番の家計簿を販売している。また、長女説子の婿が歴史学者の羽仁五郎である。この夫婦の息子が映画監督の羽仁進である。本日は心癒され

る例会である。

幹事報告

- トルコ・シリア地震災害支援に関する現時点の方向性について
  - ・現時点では当2580地区で支援金を集める予定はありません。
  - 詳細は事務局までお願い致します。
- 本日の例会は、明日館の説明をしていただき、閉会の点鐘後、自由に見学して下さい。

移動例会資料

自由学園明日館のあゆみ  
自由学園は、羽仁もと子・吉一夫妻により大正10年 (1921) に女学校として創立されました。知識の詰込みではない、新しい教育を実現するために作られた学校で、生徒に自ら昼食を調理させるなど生活と結びついた教育はまさに大正デモクラシー期における自由教育運動の象徴と言えます。明日館はその自由学園誕生の校舎です。アメリカが生んだ建築の巨匠プランターロイド・ライトと、その弟子の遠藤新の設計になる建築です。

生徒数増加により、さらに広い土地を求めた自由学園は、昭和9年 (1934) 東京都東久留米市に移転しました。その後、羽仁夫妻が自由学園と日本の教育の明日を託して命名した「明日館」は、卒業生の諸活動の拠点として使われてきました。幸いにも関東大震災や太平洋戦争の被害を免れ、戦後は自由学園生活学校の校舎としても使われました。



3月お祝い

- 会員誕生日 渡邊 裕之  
横山 晴夫  
小代 順治

クラブ奉仕委員会ホームミーティング報告

- ① 2月15日(水) 9名 大塚駅前ステーキ多喜にて開催  
①小泉会長 ②石川幹事  
③佐藤クラブ委員長 ④森川副委員長  
⑤小林委員 ⑥大家委員  
⑦鈴木研修委員長 ⑧細田委員 ⑨長尾委員  
テーマに付いて  
① 上期の卓話プログラムに付いての評価検討と来期への反省点について懇談的に森川副委員長の進行役にて18時に開始20時前に終わりました。  
② 鈴木研修委員長よりの総括的な意見を述べて頂き、プログラムの事前PRに務め参加者を増やしていきましょう！との反省点が参加者で一致しました。  
佐藤委員長よりは今期の反省点を踏まえ来期に反映して行きたいとの弁にて終わりました。



カルタ書道展報告

豊島区名勝筆めぐり カルタ書道展  
「としまこどもカルタ」の読み札を、筆で巡りながら郷土の歴史を学ぶ「カルタ書道展」が、豊島区雑司が谷公園丘の上テラスで開催された (2月16日~21日)。豊島区内15の小学校から1,100余の作品が集まり、優秀作品の201点が展示された。豊島区教育員会と当クラブの共催である。  
豊島区は「とわに しあわせ 学びの町」であり、頭文字を合わせると「としま」となる。子どもたちは、過去から学び今日のために生き、未来へ希望をつなげるのである。その子どもたちが作成した「こどもカルタ」の読み札が筆文字で表されている。まさに歴史を尊重し、未来への架け橋をつくる作業である。  
なお、この企画は、なの花書道会会長の金子春洋氏のご尽力によるものであり、素晴らしい書道展が開かれたことを、心より感謝申し上げます。

